



2022年度 東南アジア知財ネットワーク 総会

FY2022 SEAIPJ Meeting

シンガポールWG 2022年度の活動と今後の活動予定

Singapore WG Activities in the FY2022 and future schedule

2023.3.23 (March 23, 2023)

シンガポールWG (Singapore WG)

グループリーダー 奥 啓徳 (Group leader : Yoshinori Oku)

## 1. 2022年度の活動実績 / Activities Report of the FY2022

### (1) WG ミーティング / WG meeting

全3回のWGミーティングを開催(2022年10月12日、2022年12月16日、2023年3月23日)。

We held WG meetings on 12<sup>th</sup> Oct 2022, 16<sup>th</sup> Dec 2022 and 23<sup>th</sup> March 2023.

・シンガポールWGは、インドネシアの知財状況をメンバー間で共有することを主な活動内容としております。

## 2. グループの活動 / Activities of group

・グループの活動として、3件報告します

### 1:京セラ株式会社様における知財の取り組み

京セラ様より、会社概要、知的財産部門概要、SG出張の活動内容(知財情報のビジネス活用、知的資産の活用・管理)をテーマに説明がなされた。京セラ様は、知財ニュースとして各種特許情報をHP上で公開・発信しており、また、ライセンスプログラムとして各種特許技術の活用、協業、共同研究を募集している<sup>1</sup>。京セラ様は知財拠点をシンガポールに置くことを検討しており、現地企業様からどのような活動をされているかについて、以下、ディスカッションを行った。

### 2:現地知財活動についてメンバー企業様より一言、ディスカッション

知財部門を含めて経営については、国内外を含めて様々な体制を敷いている旨、各社様よりコメントがあった。知財情報のビジネス活用に関しては、知財情報を利用した新規な顧客、サービス等の発掘、既存技術の代替に関して、活発な意見交換が行われた。また、知的資産の活用に関しては、知財以外の人的資産、組織力、技能、経営理念等をナレッジと

<sup>1</sup> <https://www.kyocera.co.jp/intellectual-property/news/>

<https://www.kyocera.co.jp/intellectual-property/licensing-programs/>

して見える化することの可能性について、意見交換が行われた。ASEANにおいて、知財を含めてどのような企業活動ができるかについて、インド、中国や他の国の状況、ASEAN域内における（特許出願数等を含む）競合、ASEANの知財システム等を検討する必要がある。

3: インドネシアにおける最新の知財情勢について（JICA 西山専門家）

インドネシアにおける知財最新情報

4. 今後の活動予定

- ✓ メンバー間で情報を共有するものがあれば、共有 / Sharing the Singapore' s IPR information among the members

以上